様式１

平成22年度「北海道高等学校（普通科）キャリア教育推進事業」中間報告書

学 校 名	北海道網走桂陽高等学校		管　内	オホーツク
校　長　名	林　　俊　夫	電話番号	0152-43-2930	
設置学科(生徒数)	普通科(234名)・商業科(116名)・事務情報科(109名)			
共通研究テーマ	社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力を育成する取組の充実			
実施上の課題	総合的な学習の時間を活用して、体系的なキャリア教育を行っているが、学年ごとに指導内容等が異なっており、組織的な取組としてはまだ十分でない。			
成　果	教員・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、教員間でキャリア教育についての共通理解を図るとともに、キャリア教育を推進する上で必要な条件を明確にすることができた。			
学校研究テーマ	「キャリア教育を推進するための校内体制の整備」及び「インターンシップ等の体験活動の改善・充実」			
学校研究テーマにおける実践内容	○校内研修会の開催 ・キャリア教育について教員を対象としたアンケート調査を実施し、分析した結果について校内研修会を実施し、総合的な学習の時間におけるキャリア教育の実践の在り方について協議し、課題を明確にした。 ○保護者を対象としたアンケート調査の作成・実施・まとめ ・進路選択全般、進学、フリーター・ニート、家庭での会話、学校への要望等、それぞれの項目ごとにアンケート調査を実施し、キャリア教育推進委員会がその結果を集計し、教職員に周知するとともに、公表することとする。			
重点的に検討した内容	○体系的なキャリア教育計画の作成、進路シラバスの再構築 ○生徒のコミュニケーション能力育成のための具体的指導方法			
実施上の課題	○現在の本校におけるキャリア教育推進上の課題を解決するための、体系的なキャリア教育計画の作成及び進路シラバスの再構築が必要である。 ○キャリア形成に役立たせる教育活動を行う際の評価を適切に実施し、諸活動の改善を図って行く必要がある。 ○各教科・科目や特別活動、その他学校の教育活動全体において、キャリア教育を推進することが必要である。そのため、キャリア教育の全体計画の見直しも必要である。			
成　果	○キャリア教育に対する教員や保護者の考えを確認することができた。 ・教員だけでなく、保護者も生徒のキャリア形成に高い関心を持っているとともに、生徒の将来に対して漠然とした不安も持っており、キャリア形成を図るためには学校と保護者との連携が必要であることが認識できた。 ○現在行っているキャリア教育の課題を全教員で共有することができた。 ・単に様々な取組を実施するだけではなく、高等学校３年間の系統性を持たせることによりキャリア形成に繋げられるようにすることが課題であることが認識できた。			
事業実施による成果の普及の実施状況	○学校通信やWebページ等を活用した成果の普及(予定)			
その他特に記載すべき事項				